

養護学級 6月の様子

びわとり

約30年前、養護学級の先生が、給食のびわからとった種をまきました。今では、2階の図工室まで伸び、立派に成長したびわの木が養護学級低学年教室前の中庭にあります。

この時期は、びわのいい香りと、張りのある果皮を目の前に、つい手を伸ばしてしまう児童がたくさんいます。移動教室でびわの木の側を歩く児童や、周辺の掃除を担当している児童は、びわが実っていく様子を観察しています。

養護学級では、脚立に上りびわを収穫しました。皆、誰よりも大きくおいしそうなびわを選びました。「甘くておいしい!」と、新鮮なびわを味わって食べました。



旅の学習

6年生は、単式、複式学級と沖縄県へ旅の学習に行きました。これまで、訪問する施設や平和について学びを深めてきました。

民泊でお世話になった方々とお別れは、さみしい気持ちでいっぱいでしたが、島の暮らしや人びとのあたたかさにふれ、貴重な経験となりました。

